



ポータブルPAシステム

EON ONE

取扱説明書

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
この取扱説明書は、お読みになった後も、いつでも見られるところに保管してください。

安全上のご注意

取扱説明書には、お使いになる方や他の方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。以下の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。



警告

- AC100V 50/60Hzの電源で使用してください。これ以外の電源では火災や感電の原因となります。
- 必ず専用の電源コードを使用してください。これ以外のものを使用すると火災の原因となります。また、電源コードは他の機器には使用しないでください。
- 電源コードの上に重い物を乗せたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったりしないでください。コードが破損して火災や感電の原因となります。電源コードが傷んだら、ただちに使用を中止して販売店に交換をご依頼ください。
- 確実にアース接続をしてください。また、アース線の着脱は電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。感電の原因となります。
- 水に入れたり、濡らさないでください。また、水が入った容器や金属片などを、機器の上に置かないでください。火災や感電の原因となります。
- 煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、破損した等の異常がある時は、ただちに電源コードをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- 分解や改造は行わないでください。お客様が保守できる部品は内部にはありません。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となります。
- 長時間使用しない時や落雷の恐れがある時は、電源コードをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因となります。また、雷が鳴り出したら金属部分や電源プラグには触れないでください。



注意

- 必要な電流容量を安全に供給できるよう、適切な電源回路を用意してください。
- 事前に機器の重量を確認し、けがをしないように持ち運びや設置を行ってください。
- 斜面や不安定な場所に設置しないでください。転倒 / 落下によるけがや故障の原因となります。また、滑りやすい面に置くと音の出力エネルギーによってスピーカーが動いてしまう恐れがあります。ゴムマットを下に敷くなどの滑り止め対策を施してください。
- 以下のような場所に設置しないでください。火災や故障の原因となります。
 - ・ 直射日光の当たる場所
 - ・ 温度の特に高い場所、または低い場所
 - ・ 湿気が多い場所
 - ・ ほこりの多い場所
 - ・ 振動の多い場所
 - ・ 塩害や腐食性ガスが発生する場所
- 通気性の良い場所に設置し、通気口は絶対に塞がないでください。熱がこもって、火災や故障の原因となります。
- 機器の移動は、電源コードや他の機器との接続ケーブルを全て外した上で行ってください。けがや故障、ケーブル破損の原因となります。
- 配線は、全ての機器の電源コードをコンセントから抜き、取扱説明書に従って正しく行ってください。電源コードを差し込んだまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。
- 濡れた手で、電源コードや他の機器との接続ケーブルの抜き差しをしないでください。感電の原因となります。
- スピーカーの破損を防ぐため、電源を入れる時は一番最後にこの機器の電源を入れてください。また、電源を切る時は一番最初に電源を切ってください。
- 電源を入れたり切ったりする前に、各機器の音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴覚障害や機器の破損の原因となります。
- 大きな音量に連続してさらされると、聴覚障害の原因となります。音量の設定は慎重に行ってください。
- 過大入力を加えないでください。また、長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となります。

使用上のご注意

電波に関する注意

- ・ 本機と端末との Bluetooth 接続による通信可能な距離は約 10m です。2.4GHz 帯の周波数を使用しているため、「本機と端末との間に障害物がある場合」「本機や端末を直接地面や床に置いた場合」「雨天時の屋外で使用した場合」「他の電波を発信する機器が使用されている場所で使用した場合」では、通信距離が短くなったり、通信が途切れる可能性があります。上手く動作しない場合は、障害物を取り除くか、使用場所を変更してください。
- ・ 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は不要です。ただし、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・ 本機を分解 / 改造すること。
 - ・ 本機に貼ってある証明番号が印刷されたラベルをはがすこと。
- ・ 本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局（以下「他の無線局」）が運用されています。他の無線局との電波干渉を防止するために、以下の事項に注意してご使用ください。
 1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本機の使用場所を変えるか、運用を停止してください。
 3. 不明な点、その他お困りのことが起きたときは、以下の連絡先へお問い合わせください。

ヒビノ株式会社 ヒビノプロオーディオセールス Div.
カスタマーサポート TEL : 03-5783-3110

目次

安全上のご注意.....	P.2
使用上のご注意.....	P.3
目次.....	P.3
主な特長.....	P.4
梱包内容の確認.....	P.4
各部の名称と機能.....	P.5
設置と接続.....	P.6
コントロールパネル.....	P.8
仕様.....	P.11

主な特長

簡単なセッティングと優れたポータビリティで、仮設 PA に最適

- ベースとなるサブウーファーの背面に、高域用スピーカーと 2 本の連結パーツを収納。取り出して組み立てるだけで PA システムのセッティングが完了します。スタンドやポールが不要なうえ、配線もありません。
- Bluetooth による音声入力機能を搭載。スマートフォンなどの対応機器とボタンひとつでペアリングでき、BGM の再生をワイヤレスで行えます。トップパネルには片手での運搬に便利なハンドルを装備。移動、設置、セッティングが素早く簡単にできるので、作業人数が少ない現場にも有用です。
- システムを使用しない時は一式をまとめて保管できるので、管理も容易です。

スピーチも音楽も明瞭な音質で出力し、様々な用途に対応します。

- 高域用スピーカーは、2 インチのドライバーユニット 6 個をライン状に配列。干渉を最小限に抑える独自技術 “Directivity Control Geometry” を採用し、原音を忠実に再生します。高域用スピーカーの高さは連結パーツの使用本数により 3 段階から選択できるので、用途に応じたセッティングが可能です。
- 10 インチのドライバーを採用したサブウーファーは、“スリップストリーム” 設計により乱流を抑え、伸びと深みのある低域を実現。出力パワー 380W、最大音圧 118dB の大音量を出力し、広い会場も後方までカバーします。

簡単に使いこなせるパワード・ミキサーを採用

- モノラル入力× 2、ステレオ入力× 2 の合計 6 チャンネルのミキサーを内蔵。モノラル入力は、マイク/ラインの入力レベルの切り替えスイッチや、高域と低域の独立したトーンコントロール、ON/OFF のできるリバーブ・エフェクトを搭載しています。
- 入力信号をルーティングして出力する、モニター出力端子も装備しており、モニター用の PA システムへの拡張はもちろん、録音機器の接続にも利用できます。

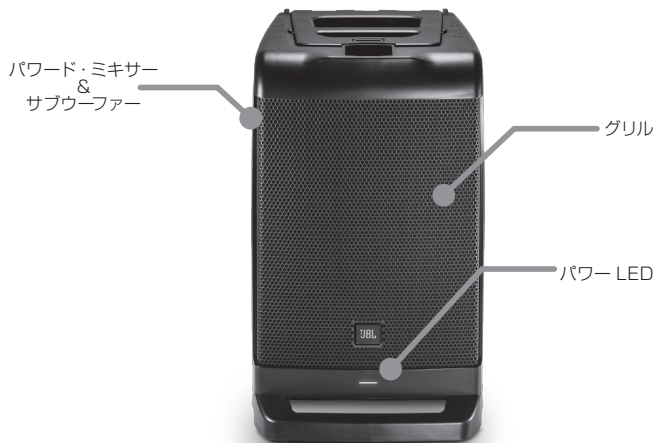
梱包内容の確認

パッケージに次の物が入っていることを確認してください。

- 高域用スピーカー× 1
- 連結パーツ× 2
- サブウーファー (パワードミキサー) × 1
- 電源コード× 1
- 和文取扱説明書

各部の名称と機能

正面



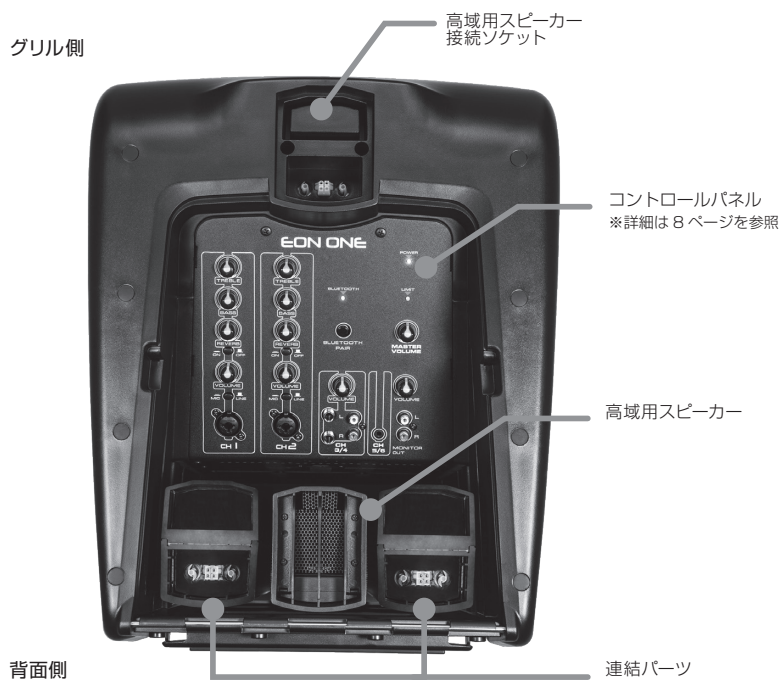
上部



背面



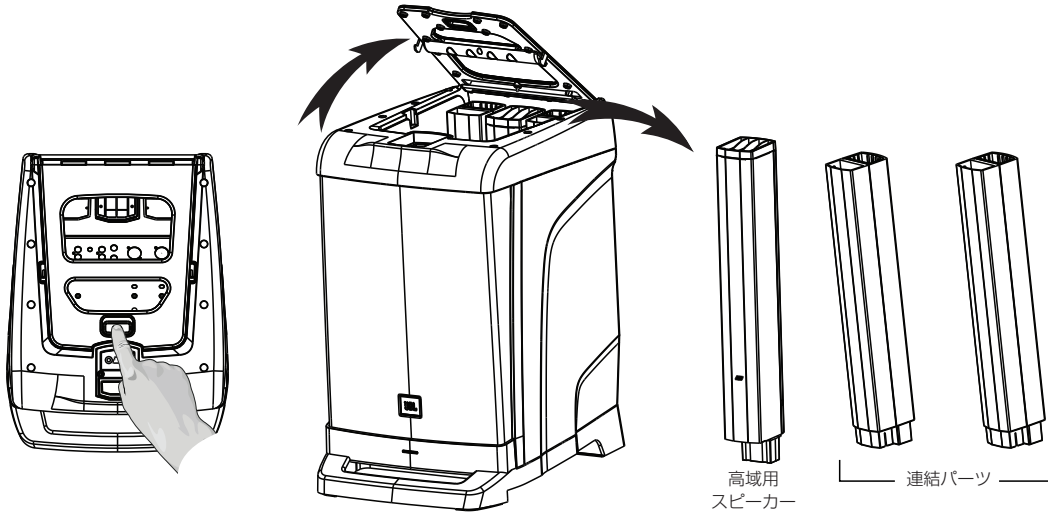
トップカバーを開けた時 (上から見た図)



※トップカバーは閉じた時に、収納している高域用スピーカーや連結パーツが運搬中に外れないよう、押さえる役割も担っています。トップカバーを開けると高域用スピーカーや連結パーツが外れやすくなります。

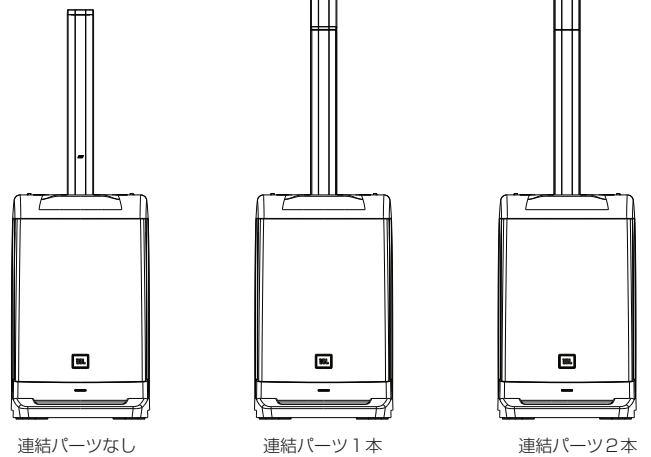
設置と接続

1. EON ONE を外箱から取り出します。
2. ラッチレバーをスライドさせてトップカバーを開け、高域用スピーカーと連結パーツを取り出します。
※収納した時、中央のグリルがついているのがスピーカー、両端が連結パーツです。



3. 高域用スピーカーと連結パーツを、高域用スピーカー接続ソケットに1段ずつしっかり差し込んでください。連結パーツは必要に応じた本数を使用してください。

- ・連結パーツ、高域用スピーカーは、合致する形状に従って連結してください。収納している向きのまま接続ソケットに差し込むと、スムーズに設置できます。
- ・連結やソケットへの差し込みが浅いと、端子が十分に接触せずに音が出ないなどの原因となります。しっかり差し込んでください。

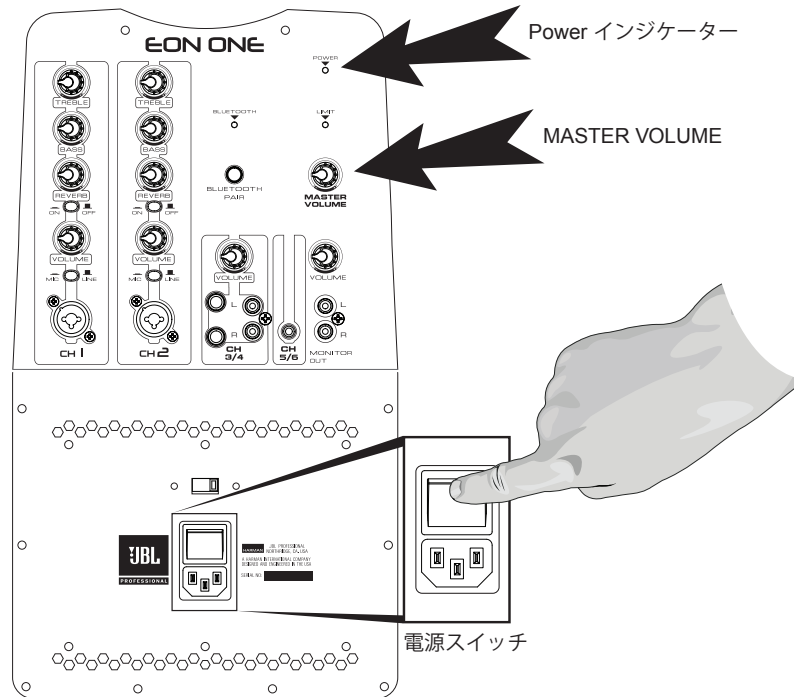


連結パーツなし

連結パーツ1本

連結パーツ2本

4. 音声信号を入力する機器をパワー・ミキサーに接続します。入力端子については、8 ページのコントロールパネルを参照してください。
5. 付属の電源コードをパワー・ミキサーの電源端子に接続し、オス側を壁のコンセントに接続します。コントロールパネルの MASTER VOLUME つまみが左に絞り切り（出力レベルが最小）になっていることを確認してください。
6. 電源スイッチを ON にしてください。コントロールパネルの POWER インジケータが点灯したら準備は完了です。MASTER VOLUME で出力レベルを調整すると増幅した信号を聞くことができます。



トップカバーの開閉について

トップカバーは、運搬時のハンドルとしても使用するため、金属製の堅牢なつくりになっています。カバーを開けると金属製の突起がありますので、思わぬ怪我や事故などを防ぐため、トップカバーの扱いには十分ご注意ください。

また、トップカバーを閉める時は、ラッチレバーがカチッと鳴るまで確実に閉めてください。その際、指などを挟まないよう十分ご注意ください。



コントロールパネル

▶ 基本

パワード・ミキサーには、ミキシングボードとパワーアンプを格納しています。その操作を行うのがコントロールパネルです。コントロールパネルは以下の4つのセクションに分かれています。

入力セクション

音声信号を入力します。マイクロホン、楽器、MP3 プレイヤー、CD プレイヤーなどを接続することができます。

Bluetooth セクション

Bluetooth 対応機器とペアリングします。ペアリングした端末から Bluetooth による音声入力（オーディオストリーミング）が可能です。

マスターボリュームセクション

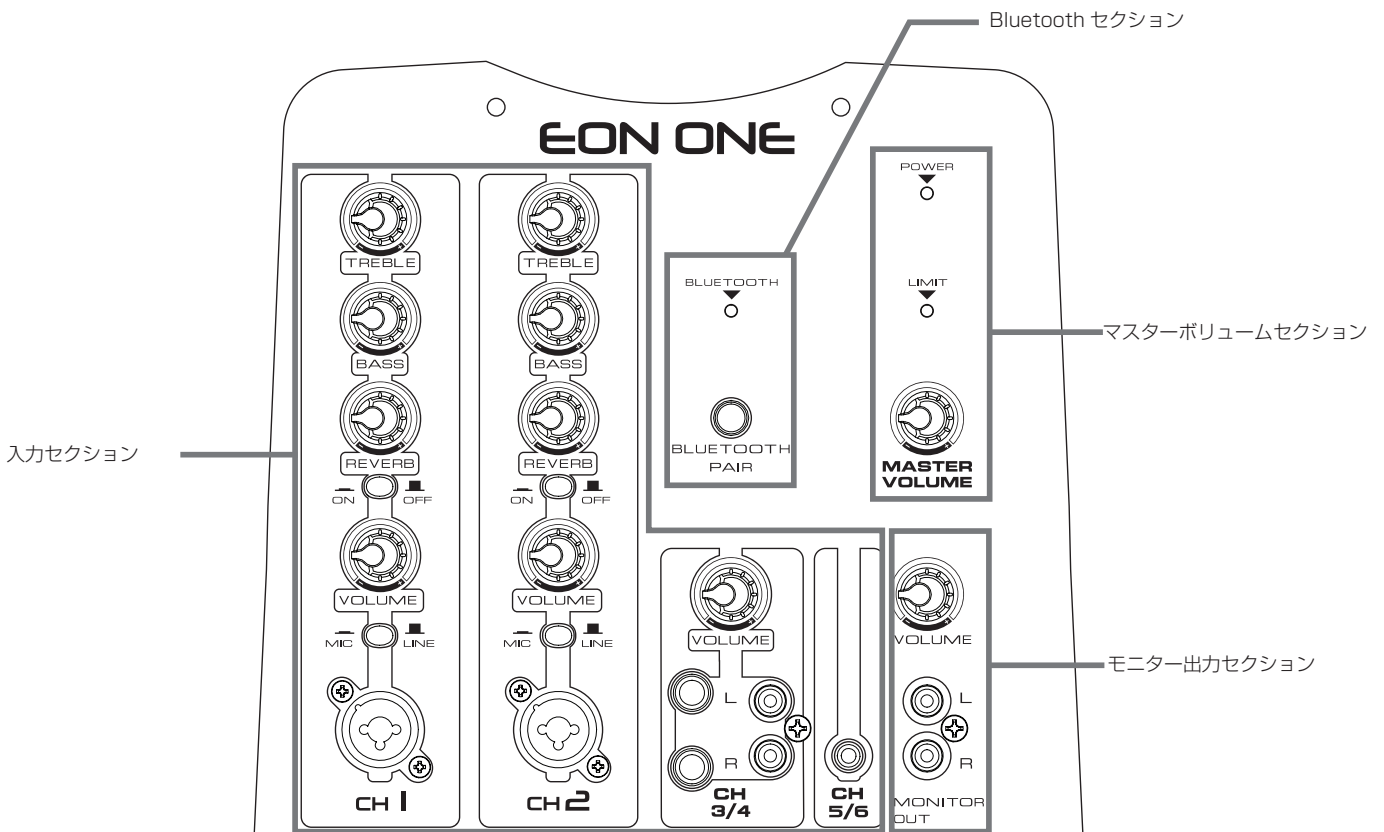
スピーカーの出力レベルを調整します。また、POWER インジケータと LIMIT インジケータで、動作状況を確認できます。

モニター出力セクション

入力信号をルーティングし、出力します。録音機器や追加のスピーカー（例えばモニタースピーカー、FOH への拡声用など）に使用できます。

備考

- 追加のスピーカーへの出力として使用する場合は、別途パワーアンプをご用意ください。



▶ 入力セクション

入力セクションは、音声信号の入力端子と、信号を調整するつまみ等が配置されています。入力信号はミキシングボードの調整を経て、パワーアンプで増幅されてスピーカーから出力されます。

1. マイク/ライン入力端子 (CH1、CH2)

バランス仕様の XLR 端子と標準フォーンジャックの複合端子です。マイクレベルまたはラインレベルの信号を入力できます。

CH1 と CH2 に入力する信号に対し、チャンネルごとに以下の調整・設定が可能です。

a. TREBLE つまみ

高域にシェルビング・フィルターを適用し、高域の量を調整します。右にまわすと高域が強調されます。反対に、左にまわすと印象が弱くなります。調整しない場合 (フラット) は、つまみを中央の位置に設定してください。

b. BASS つまみ

低域にシェルビング・フィルターを適用し、低域の量を調整します。右にまわすと低域が強調されます。反対に、左にまわすと印象が弱くなります。調整しない場合 (フラット) は、つまみを中央の位置に設定してください。

c. REVERB つまみ

リバーブ・エフェクトの量を調整します。右にまわすとリバーブ (残響) の量が増えます。反対に、左にまわすと少なくなります。リバーブ・エフェクトを使用しない場合は REVERB ON/OFF スイッチを OFF にしてください。

d. REVERB ON/OFF スイッチ

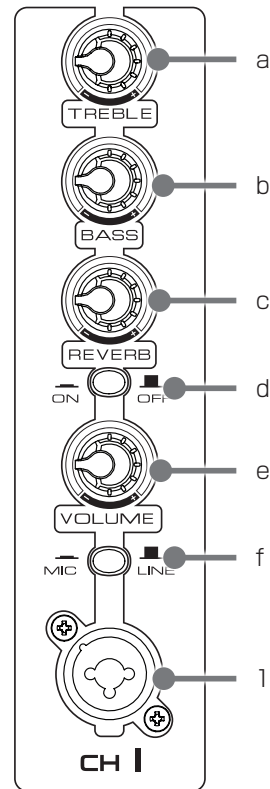
リバーブ・エフェクトの ON/OFF を行います。ON にすると、REVERB つまみで設定した量のリバーブ・エフェクトを適用します。

e. VOLUME つまみ

チャンネルのレベルを調整します。

f. MIC/LINE 切替スイッチ

マイクレベルとラインレベルを切り替えます。接続機器に合わせて選択してください。



備考

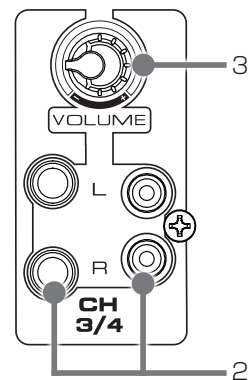
- ・ハイ・インピーダンスの楽器などを接続する場合は、別途ダイレクト・ボックスをご用意ください。

2. 入力端子 (CH3/4、ステレオ)

標準フォーンジャック、または RCA の端子です。ステレオの音声信号を入力します。標準フォーンジャックは電子ピアノや電子ドラムマシン、RCA 端子は MP3 プレーヤーや CD プレーヤーなどのステレオ音源の入力に利用できます。

3. CH3/4 用 VOLUME つまみ

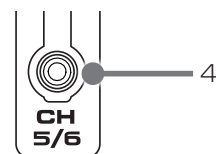
CH3/4 のレベルを調整します。



4. 入力端子 (CH5/6、ステレオ)

3.5mm ミニフォーンジャックの端子です。ステレオの音声信号を入力します。パーソナルミュージックプレーヤーなどの接続に利用できます。

※レベルの調整は、接続機器側で行ってください。



▶ Bluetooth セクション

5. BLUETOOTH LED

Bluetooth 機能の動作状態を示す LED です。Bluetooth 機能が有効になっている場合に青色に点灯します。ペアリング待機中は点滅、ペアリングが成立すると点灯します。



6. BLUETOOTH PAIR ボタン

Bluetooth 対応端末とペアリングを行います。まず、本機の Bluetooth PAIR ボタンを押して、Bluetooth 機能を有効にしてください。次に端末の Bluetooth 機能で "EON ONE" を検出し、接続してください。



▶ マスターボリュームセクション

7. POWER インジケータ

電源を ON にすると、LED が数回点滅した後、点灯します。



8. LIMIT インジケータ

スピーカー出力が最大出力レベルに近づいてリミッターが作動すると、LED が点灯します。点灯しないように MASTER VOLUME つまみ、またはチャンネルの VOLUME つまみでレベルを下げ調整してください。



9. MASTER VOLUME つまみ

スピーカー出力のレベルを調整します。



▶ モニター出力セクション

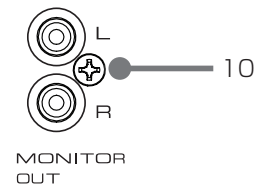
10. MONITOR OUT 出力端子

RCA の端子です。入力信号をルーティングして出力します。これらの出力は、パーソナルモニターをはじめ、レコーディング機器、その他の PA システム (FOH など) の拡張用に利用できます。



11. MONITOR OUT 用 VOLUME つまみ

モニター出力のレベルを調整します。



仕様

形式	2-Way パワード・フルレンジ	
周波数レンジ (-10dB)	37.5Hz ~ 18.5kHz	
指向角度 (水平×垂直)	100° × 50°	
最大音圧レベル	118dB SPL (ピーク)	
ドライバー構成	HF	2 インチ × 6
	LF	10 インチ (254mm)
パワーアンプ	380W (LF : 250W+HF : 130W)、Class D	
入力	チャンネル数	6
	端子・形式	CH1 : XLR と標準フォーンジャック (3P) 対応の複合型端子 × 1 CH2 : XLR と標準フォーンジャック (3P) 対応の複合型端子 × 1 CH3&4 : 標準フォーンジャック (3P) × 2 (ステレオ)、RCA × 2 (ステレオ) CH5&6 : 3.5mm ミニフォーンジャック × 1 (ステレオ)
	インピーダンス	CH1 : 【XLR】 40k Ω、バランス 【TRS】 40k Ω、バランス CH2 : 【XLR】 40k Ω、バランス 【TRS】 40k Ω、バランス CH3&4 : 【標準フォーンジャック】 20k Ω、バランス 【RCA】 5k Ω、アンバランス CH5&6 : 【3.5mm ミニフォーンジャック】 10k Ω、アンバランス
モニター出力	端子・形式	RCA × 2 (ステレオ)
イコライザー	BASS/TREBLE (-/+12dB)	
インジケーター	Limit、Bluetooth、Power (前面、背面)	
電源	AC100V、50/60Hz	
エンクロージャー	ポリプロピレン製、黒	
寸法 (W × H × D、除突起部)	使用時 (最大) : 373 × 2,017 × 498mm、収納時 : 373 × 596 × 498mm	
質量	20kg	
付属品	電源コード、和文取扱説明書	



この取扱説明書に記載されている商品名、会社名等は、その会社の登録商標または商標です。

HIBINO

<http://www.hibino.co.jp/>
E-mail: proaudiosales@hibino.co.jp

ヒビノ株式会社 ヒビノプロオーディオセールス Div.

営業部

〒108-0075 東京都港区港南3-5-12
TEL: 03-5783-3110 FAX: 03-5783-3111

札幌オフィス

〒063-0813 北海道札幌市西区琴似三条1-1-20
TEL: 011-640-6770 FAX: 011-640-6776

大阪ブランチ

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町18-8
TEL: 06-6339-3890 FAX: 06-6339-3891

名古屋オフィス

〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南3-4-26
TEL: 052-589-2712 FAX: 052-589-2719

福岡ブランチ

〒812-0041 福岡県福岡市博多区吉塚4-14-6
TEL: 092-611-5500 FAX: 092-611-5509